

# 公益社団法人 日本地下水学会 2013 年度 定期代議員総会 議事録

1. 開催日時：2013 年 4 月 27 日 15：00～17：00

2. 開催場所：日本工営株式会社 会議室 東京 麹町

3. 代議員総数：28 人

4. 出席代議員数

出席 23 人 欠席 5 人

○：出席，×：欠席

公益社団法人 日本地下水学会代議員							
井岡聖一郎	○	石田 聡	○	今井 久	○	江種 伸之	×
小野寺真一	○	小菅 誠一	○	小松 満	○	下村 雅則	○
白石 知成	×	進士 喜英	○	鈴木 弘明	○	大東 憲二	○
高橋 直人	×	竹内 真司	○	唐 常源	×	登坂 博行	○
中川 啓	×	中野 勝志	○	長谷川琢磨	○	林 武司	○
菱谷 智幸	○	檜山 哲哉	○	深田 園子	○	丸井 敦尚	○
初井 和朗	○	山口 嘉一	○	山中 勤	○	吉岡 真弓	○

(選挙管理委員長 中川加明一郎 ○)

5. 欠席者の内、委任状受領者

5 人：江種 伸之，白石 知成，高橋 直人，唐 常源，中川 啓

6. 総会の成立

合計 28 名が議決権を行使する状態にあり，総会は成立する。

7. 議長：鈴木 弘明 代議員

8. 議事録作成者：理事 平山 利晶

9. 代議員総会資料

資料－0：2013 年度 公益社団法人日本地下水学会 定期代議員総会 概要

資料－1：2013 年度 公益社団法人日本地下水学会 定期代議員総会 議事次第

資料－2：2013 年度，2014 年度 公益社団法人日本地下水学会 代議員名簿

資料－3：理事選任の手順案

資料－4：公益社団法人日本地下水学会 2012 年度事業報告書

資料－5：公益社団法人日本地下水学会 2012 年度決算関連資料

資料－6：公益社団法人日本地下水学会 2012 年度決算監査報告書

資料－7：公益社団法人日本地下水学会 2013 年度事業計画書

資料－ 8：公益社団法人日本地下水学会 2013 年度予算関連資料

資料－ 9：2013 年度，2014 年度 公益社団法人日本地下水学会 監事 理事会案

資料－ 10：2013 年度，2014 年度 公益社団法人日本地下水学会 理事 理事会案

資料－ 11：公益社団法人日本地下水学会 定款

資料－ 12：公益社団法人日本地下水学会 細則

## 10. 議事の経過の要領およびその結果

定刻に至り，司会進行役が 4. のとおり総代議員の議決権の数の過半数に相当する代議員の出席もしくは委任状があったので，本会は適法に成立したので開会する旨を宣した。議長の選任について代議員に諮ったところ，満場一致をもって代議員 鈴木弘明氏が議長に選任された。鈴木弘明代議員は，議長席に着き，直ちに議事に入った。

開始に先立ち，議長より，議事録作成人について代議員に諮ったところ，満場一致をもって 2011 年度，2012 年度理事の平山利晶氏が選任された。

その後，川端淳一総務委員長より本日の議案並びに準備資料構成の説明がおこなわれた。

### 【審議事項】

#### 第 1 号議案：2012 年度（公益法人第 3 期）決算承認の件

- ・議長の指名により，高坂信章会計委員長から，資料－ 5 に基づき 2012 年度貸借対照表，損益計算書，財産目録に関する報告があった。引き続き，平山光信監事から，資料－ 6 に基づき適正な執行がなされていることを確認したとの報告がおこなわれた。
- ・2012 年度決算について代議員に諮ったところ満場一致で了承された。

#### 第 2 号議案：2013 年度，2014 年度理事選出の件

- ・議長の指名により，川端淳一総務委員長から，資料－ 9 により監事の理事会案について説明がおこなわれた。その上で，定款 14 条に基づき 2013 年度，2014 年度の監事が代議員により議決された。議決結果は，以下のとおり。
  - ・平山 光信 満場一致で選任
  - ・前川統一郎 満場一致で選任
  - ・村田 正敏 満場一致で選任以上 3 名を選任。

#### 第 3 号議案：2013 年度，2014 年度理事選出の件

- ・議長の指名により，川端淳一総務委員長から，資料－ 10 により理事の理事会案について説明がおこなわれた。その上で，定款 14 条に基づき 2013 年度，2014 年度の理事が代議員により議決された。議決結果は，以下のとおり。
  - ・嶋田 純 満場一致で選任
  - ・今村 聡 満場一致で選任
  - ・谷口 真人 満場一致で選任
  - ・川端 淳一 満場一致で選任
  - ・高坂 伸章 満場一致で選任
  - ・松山 秀明 満場一致で選任
  - ・蛭原 雅之 満場一致で選任
  - ・中島 誠 満場一致で選任
  - ・杉田 文 満場一致で選任

- ・徳永 朋祥 満場一致で選任
- ・今井 久 満場一致で選任
- ・平山 利晶 満場一致で選任
- ・中屋 眞司 満場一致で選任
- ・斉藤 庸 満場一致で選任
- ・丸井 敦尚 満場一致で選任

以上 15 名を選任。

## 【報告事項】

### 1. 代議員選出の経緯等について

- ・中川選挙管理委員長より、全代議員が、定款の代議員規定に基づく資格を有するとの審査結果を報告した。
- ・議長の指名により、川端淳一総務委員長から資料－ 2, 3 に基づき、代議員及び理事の選出方法について報告があった。
- ・会員数についての質問があり、2012 年 10 月 1 日時点で 721 名と報告。
- ・選任方法について質問があり、定款に基づき、個々に議決する旨を説明。

### 2. 2012 年度事業報告の件

- ・議長の指名により、川端淳一総務委員長から、資料－ 4 に基づき 2012 年度事業報告があった。
- ・受託事業について質問があり、学会 HP で当該サイト（研究評価成果）にリンクできる旨を報告。
- ・web 会議，学会誌印刷数の精査，理事会資料のペーパレス化など，経費節減に取り組んでいることを報告。

### 3. 2013 年度事業計画の件

- ・議長の指名により、川端淳一総務委員長から、資料－ 7 に基づき 2013 年度事業報告があった。

### 4. 2013 年度予算に関する件

- ・議長の指名により、高坂信章会計委員長から、資料－ 8 に基づき 2013 年度予算に関する報告があった。

以上をもって本日の議事が終了したので、議長は 17 時 00 分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し議長及び議事録作成者が次に記名押印する。

2013 年 4 月 27 日

公益社団法人日本地下水学会 代議員総会

議 長：鈴木 弘明

議事録作成者：平山 利晶



# 公益社団法人 日本地下水学会 2012年度 事業報告書

本学会における事業は以下のように分類されている。

- 公益事業 1 [公1]：地下水に関する学術結果等を収集，編集，公表する事業
- 公益事業 2 [公2]：地下水に関する講習会，シンポジウム，見学会等を開催する事業
- 公益事業 3 [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発，研究等を行う事業
- 公益事業 4 [公4]：地下水に関する相談事業
- その他 [他1]：表彰事業
- 共通事業 [共通]：共通事業

それぞれの項目毎に事業報告を記す。

## [公1] 地下水に関する学術結果等を収集，編集，公表する事業

### 1. 会誌編集事業

- ・会誌54巻2号, 3号, 4号, 55巻1号を発行した。55巻1号は特集号「震災と地下水」として発刊した。54巻総ページ数274。
- ・学会掲載論文等の電子公開を引き続きJ STAGEを利用して実施した。
- ・1巻1号からの電子公開についてJournal Archive (JSTが提供するプラットフォーム)を利用して実施した。

### 2. 定期講演会等の主催

- ① (公社) 日本地下水学会春季講演会  
日時：2012年5月26日(土)  
場所：東京大学 柏の葉キャンパス  
参加者数等：参加者数154名，講演件数46件，展示件数7社
- ② (公社) 日本地下水学会秋季講演会  
日時：2012年9月27日(木)～29日(土)  
場所：鹿児島大学 郡元キャンパス  
参加者数等：参加者数137名，講演件数60件，展示件数2社，見学会参加者29名
- ③ 第18回地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会  
共同主催：(公社) 日本地下水学会，(公社) 地盤工学会，(社) 土壌環境センター  
(社) 日本水環境学会，(社) 廃棄物資源循環学会  
日時：2012年6月14日(木)，15日(金)  
場所：埼玉会館  
参加人数：517名

### 3. 講演会の後援等

- ① 日本水大賞委員会主催：第14回日本水大賞，後援
- ② 地下水地盤環境に関する研究協議会主催：地下水地盤環境に関するシンポジウム2012，2012年11月16日，建設交流館(大阪)，後援
- ③ (公社) 地盤工学会主催：「はじめて学ぶ土壌・地下水汚染」講習会，2012年5月15日，地盤工学会(東

京), 後援

- ④住友財団環境研究助成「アジアの都市における地下温暖化に関する比較研究共同研究グループ主催:「都市域の地下温暖化と地中熱エネルギー」研究報告会, 2012年11月15日, 建設交流館(大阪), 後援
- ⑤(社) 土壤環境センター等主催: 2012 土壤・地下水環境展, 2012年10月17日~10月19日, 協賛
- ⑥日本地熱学会主催: 平成24年地熱学会学術講演会 2012年10月24日~26日, 湯沢文化会館, 協賛

## [公2] 地下水に関する講習会, シンポジウム, 見学会等を開催する事業

### 1. 講習会事業

「地下水熱利用(熱応答試験およびその解析)講習会」

日時: 2012年9月18日(火), 19日(水) 2日間

場所: 信州大学工学部 地域共同研究センター

主催: (公社) 日本地下水学会

共催: (独) 産業総合研究所

後援: NPO 地中熱利用促進協会, 信州大学

受講者数: 27名

### 2. シンポジウム開催事業

- ①シンポジウム「震災時の非常用水源としての地下水利用の在り方」

日時: 2012年5月26日(土)

場所: 東京大学 柏キャンパス 春季講演会と同時開催

主催: (公社) 日本地下水学会

共催: (公社) 地盤工学会, 日本水文科学会

後援: 水文・水資源学会

参加者数: 約170名

- ②ディスカッションセッション「これからの地下水資源利用のあり方」

日時: 2012年9月28日(金)

場所: 鹿児島大学 郡元キャンパス 秋季講演会の一セッションとして開催

主催: (公社) 日本地下水学会

- ③「地下水流動解析の解析精度および検証・確証に関するシンポジウム」

日時: 2012年11月9日(金)

場所: (公社) 地盤工学会 大会議室

主催: (公社) 日本地下水学会

参加者数: 50名

### 3. 見学会の開催

一般市民向けの湧水見学ツアー「都内湧水めぐり~文京区 -坂と湧水-」を10月14日(日)に実施した。参加者43名

## [公3] 地下水に関する特定テーマの技術開発, 研究等を行う事業

### 1. 研究グループ活動

- ①「温暖化と地下水の水資源評価に向けた課題抽出研究グループ」では, 地球温暖化と地下水環境の関係や地下水資源の保全と管理の必要性に関する検討項目を抽出し, 各項目について研究成果の現状把握をおこなった。
- ②「地下熱利用技術の高度化と普及促進に関する研究グループ」では, 他学会等における類似の研究



内容・成果の精査をおこなうとともに、地下熱利用について会誌に誌面講座を掲載した。

## 2. 受託事業

独立行政法人産業総合技術研究所からの委託研究「沿岸域塩淡水境界・断層評価技術高度化開発の研究評価」および「海域地質環境調査技術高度化開発の研究評価」を受託し、実施した。

### [公 4] 地下水に関する相談事業

HP「とりもどそうきれいな地下水」による情報発信、質問の受付と回答を行った。2012年度のアクセス数は4万件あまりであった。質問コーナーにおいても400件の質問があった。

### [他 1] 表彰関連

学会表彰規則に則り、名誉会員・学会賞・論文賞・研究奨励賞・地下水学術賞・技術賞・学会功労賞を選考し、また若手優秀講演賞を決定・表彰した。

### [共通]

#### 1. 国内外関連団体交流

- ①外部機関との協力体制のあり方の検討を行った。
- ②IAH JAPANの事務局を当学会内におき、IAHに関する事務業務の一部を行うこととした。

#### 2. 学会情報普及事業

- ①学会員を含む広く一般の方々を対象に、HP上に、学会、及び、関連団体等の、最新情報を掲示・更新した。
- ②メール受信を希望する会員を対象に、メールニュースを発信した。
- ③ウェブ会議の運用により、インターネットを通じた学会運営の効率化を図った。
- ④英文ホームページの運用を開始した。

#### 3. 会計

- ①公益目的事業毎の会計体系内で、公益事業費50%以上の確保、収支相償、遊休財産額が1年度分の公益目的事業費以内等の認定条件を維持するよう運営・管理した。
- ②未納会費の徴収、経費の節減に取り組んだ。

#### 4. 男女共同参画に関する活動

- ①男女共同参画委員会委員5名を選出し、当学会の男女共同参画についての現状と課題、委員会活動について話し合った。
- ②男女共同参画学協会連絡会の第3回大規模アンケートに協力学協会として協力した。
- ③日本学術会議科学者委員会 男女共同参画分科会から協力学術研究団体を対象に行われたアンケート調査に日本地下水学会として回答した。

#### 5. その他

- ①公益法人としての円滑な学会運営を図るため、事務局長を置いた。
- ②技術者継続教育の一環として、ジオ・スクーリングネット、JABEE等への参加、活動を行った。

以上

2012 年度財産目録  
2013 年 3 月 31 日 現在

〔単位：円〕

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
<b>【資産の部】</b>			
I 流動資産			
1 現金預金			
1) 現金		運転資金として	4,723
2) 振替貯金	東京貯金事務センター（社団法人口座）	運転資金として	6,917,350
	東京貯金事務センター（旧口座）	運転資金として	171,828
3) 普通預金	みずほ銀行築地支居（社団法人口座）	運転資金として	2,059,671
	みずほ銀行築地支居（小口座）	運転資金として	18,036
	みずほ銀行築地支居（旧口座）	運転資金として	680,641
2 前渡し金	編集委員会会計口座	公1：学会誌編集事業 委員会運営費用	463,000
	市民コミュニケーション委員会会計口座	公4：相談事業 委員会運営費用	120,000
3 未収金	行事委員会会計口座	公1：定期講演会開催事業 委員会運営費用	383,414
4 前払い金	フクダエステート	事務局家賃（4月～8月分）	525,000
流動資産合計			11,343,663
II 固定資産			
1 特定資産			0
2 その他の固定資産			
1) 敷金	フクダエステート	事務局敷金	300,000
2) 什器備品	プリンタ：学会事務局	公益目的事業，法人会計の共有財産	17,010
	パソコン1：学会事務局	公益目的事業，法人会計の共有財産	1
	パソコン2：学会事務局	公益目的事業，法人会計の共有財産	16,816
固定資産合計			333,827
資産合計			11,677,490
<b>【負債の部】</b>			
I 流動負債			
(1) 未払金	法人会計に関わる未払金	パート交通費	16,560
(2) 前受金	2013 年度分会費	公益目的事業，法人会計に関わる前受分	3,321,000
流動負債合計			3,337,560
II 固定負債			0
固定負債合計			0
負債合計			3,337,560
正味財産			8,339,930

公益社団法人 日本地下水学会 2012年度 損益計算書  
 自 2012年4月1日 至 2013年3月31日

事業	公1 雑誌発行・定期講演会		公2 講習会, シンポ, 見学会		公3 技術開発・研究		公4 相談事業	
	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績
会費収入	0	578,250	0	0	0	0	0	0
事業収入	4,316,000	3,276,625	450,000	688,035	1,900,000	1,989,960	0	0
寄付金収入	0	0	100,000	0	0	0	0	0
雑収入	0	142,277	0	80	0	0	0	0
収入計	4,316,000	3,997,152	550,000	688,115	1,900,000	1,989,960	0	0
事業費	6,269,500	4,940,159	1,165,000	894,301	1,680,000	1,718,480	80,000	83,180
管理費	868,750	946,072	208,500	378,429	278,000	378,429	0	189,214
支出計	7,138,250	5,886,231	1,373,500	1,272,730	1,958,000	2,096,909	80,000	272,394
収支差額	-2,822,250	-1,889,079	-823,500	-584,615	-58,000	-106,949	-80,000	-272,394



公共		公益事業合計		他1 表彰事業		法人		合 計	
予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績	予算	実績
3,298,500	3,113,500	3,298,500	3,691,750	0	0	3,298,500	3,113,500	6,597,000	6,805,250
0	0	6,666,000	5,954,620	0	0	0	0	6,666,000	5,954,620
0	0	100,000	0	0	0	0	0	100,000	0
0	0	0	142,357	0	0	0	956	0	143,313
3,298,500	3,113,500	10,064,500	9,788,727	0	0	3,298,500	3,114,456	13,363,000	12,903,183
816,000	560,540	10,010,500	8,196,660	40,000	4,331	0	0	10,050,500	8,200,991
0	189,214	1,355,250	2,081,358	69,500	75,686	2,730,250	1,776,705	4,155,000	3,933,749
816,000	749,754	11,365,750	10,278,018	109,500	80,017	2,730,250	1,776,705	14,205,500	12,134,740
2,482,500	2,363,746	-1,301,250	-489,291	-109,500	-80.017	568,250	1,337,751	-842,500	768,443

貸借対照表

2013年3月31日 現在

[単位：円]

科 目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,852,249		
前渡金	583,000		
未収金	383,414		
前払金	525,000		
流動資産合計		11,343,663	
2. 固定資産			
その他の固定資産			
敷金	300,000		
什器備品	33,827		
その他の固定資産合計	333,827		
固定資産合計		333,827	
資産合計			11,677,490
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	16,560		
前受金	3,321,000		
流動負債合計		3,337,560	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			3,337,560
III. 正味財産の部			
指定正味財産		700,000	
一般正味財産		7,639,930	
(うち当期正味財産増減額)	768,443		
正味財産合計			8,339,930
負債及び正味財産合計			11,677,490

貸借対照表 内訳表  
2013年3月31日現在

(円)

科目	当年度末 2013/03/31	前年度末 2012/03/31	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,852,249	9,071,963	780,286
現金手許有高	4,723	17,016	△ 12,293
普通預金	2,758,348	2,915,149	△ 156,801
みずほ銀行築地支店（社団法人口座）	2,059,671	2,358,958	△ 299,287
みずほ銀行築地支店（小口口座）	18,036	0	18,036
みずほ銀行築地支店（旧口座）	680,641	556,191	124,450
振替貯金	7,089,178	6,139,798	949,380
ゆうちょ銀行（社団法人口座）	6,917,350	5,974,970	942,380
ゆうちょ銀行（旧口座）	171,828	164,828	7,000
前渡金等	583,000	0	583,000
編集委員会	463,000	0	463,000
市民コミュニケーション委員会	120,000	0	120,000
未収金	383,414	52,180	331,234
編集委員会	0	52,180	△ 52,180
行事委員会	383,414	0	383,414
前払金	525,000	525,000	0
前払家賃	525,000	525,000	0
流動資産合計	11,343,663	9,649,143	1,694,520
2. 固定資産			
特定資産	0	0	0
その他の固定資産	333,827	366,317	△ 32,490
敷金	300,000	300,000	0
什器備品	33,827	66,317	△ 32,490
固定資産合計	333,827	366,317	△ 32,490
資産合計	11,677,490	10,015,460	1,662,030
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	16,560	43,973	△ 27,413
未払費用	16,560	43,973	△ 27,413
未払法人税等	0	0	0
前受金	3,321,000	3,100,000	221,000
前受会費	3,321,000	3,100,000	221,000
流動負債合計	3,337,560	3,143,973	193,587
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	3,337,560	3,143,973	193,587
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	700,000	0	700,000
2. 一般正味財産	7,639,930	6,871,487	768,443
正味財産合計	8,339,930	6,871,487	1,468,443
負債および正味財産合計	11,677,490	10,015,460	1,662,030

# 監査報告書

2013年4月15日

公益社団法人 日本地下水学会  
代表理事 会長 嶋田 純 殿

公益社団法人 日本地下水学会

監事 前川統一郎

監事 村田 正敏

監事 平山 光信



私たちは、2012年4月1日から2013年3月31日までの公益社団法人 日本地下水学会 第3期事業年度の業務および計算書類について監査を実施し、本監査報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法の概要

監事は、一般に認められた監査手続きに従い、理事会に出席する他、事業報告書、計算書類につき慎重に検討を加えました。

## 2. 監査の結果

- (1) 貸借対照表、損益計算書及び付属明細書は、決算の状況を正しく示しており、指摘すべき事項は認められません。
- (2) 事業報告書は、公益社団法人 日本地下水学会の業務運営の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 理事の職務執行に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

以 上

# 公益社団法人 日本地下水学会 2013年度 事業計画書

日本地下水学会は、2010年8月5日に公益社団法人として以来、定款第3条「地下水に関する研究、技術開発及び普及に関する事業を通じて、地下水資源の保全と有効利用、地下水に関わる諸問題の解決に貢献し、社会の発展に寄与することを目的とする。」に基づき、広く社会の公益に資するための事業を展開すべく活動を行っている。2013年度事業計画書を以下に記す。

本学会における事業は以下のように分類されている。

- 公益事業 1 [公1]：地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業
- 公益事業 2 [公2]：地下水に関する講習会、シンポジウム、見学会等を開催する事業
- 公益事業 3 [公3]：地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業
- 公益事業 4 [公4]：地下水に関する相談事業
- その他 [他1]：表彰事業
- 共通事業 [共通]：共通事業

それぞれの項目毎に事業計画を記す。

## [公1] 地下水に関する学術結果等を収集、編集、公表する事業

### 1. 学会誌編集

- ①会誌第55巻第2号、第3号、第4号、第56巻1号（総ページ400程度）を発刊する。
- ②会誌掲載論文の電子公開を実施する。

### 2. 定期講演会の開催

#### 【主催イベント】

- ①公益社団法人日本地下水学会春季講演会  
日時：2013年5月18日（土）  
場所：千葉大学松戸キャンパス
- ②第19回 地下水・土壌汚染とその防止対策に関する研究集会  
日時：2013年6月13日（木）、14日（金）  
場所：京都大学  
主催：（公社）日本地下水学会、（社）廃棄物資源循環学会、（公社）地盤工学会、  
（社）日本水環境学会、（社）土壌環境センター
- ③公益社団法人日本地下水学会秋季講演会  
日時：2013年10月10日（木）～12日（土）  
場所：秋田市

## [公2] 地下水に関する講演会、シンポジウム、見学会等を開催する事業

### 1. 講習会の開催

- ①講習会「地下水シミュレーション（実習）講習会」  
日時：2013年秋から冬（2日間の予定）

場所：都内（予定）

②現場調査講習会

日時：2013年秋から冬（2～3日間の予定）

場所：都内（予定）

2. シンポジウムの開催

「地盤沈下対策後の地下水管理」（仮称）

日時：2013年秋頃（1日）

場所：未定

3. 見学会の開催

湧水見学会「都区内の湧水ツアー（仮称）」を2013年6月～9月に開催する。

公益事業 3 [公3] 地下水に関する特定テーマの技術開発、研究等を行う事業

1. 研究グループ活動

- ①「地球温暖化と地下水の水資源評価に向けた課題抽出研究グループ」では、地球温暖化による地下水環境への影響について、文献レビューを行い、国内の地域ごとに考えられるリスクについて検討する。
- ②「地下水学の名著を読む研究グループ」では、地下水学の各分野における名著リストを作成してreviewを行い、学会誌への連載を開始する。
- ③新規研究グループの募集活動を行う。

2. 受託事業

「地下水に係わる研究活動の評価」等の受託事業を実施する。

公益事業 4 [公4] 地下水に関する相談事業

・HP「とりもどそうきれいな地下水」上で「地下水ブックガイド」を掲載する等の情報発信、質問の受付と回答を行う。

その他 [他1] 表彰関連

- ①学会表彰規則に則り、学会賞、論文賞、研究奨励賞、地下水学術賞、技術賞、学会功労賞、感謝状の対象を選考、推薦し、若手優秀講演賞を決定する。
- ②学会名誉会員推薦内規に則り、名誉会員候補者の審議を行い推薦者がいれば理事会に推薦する。
- ③学会表彰規則内規の一部見直しを検討する。

共通事業 [共通]

1. 国内関連団体交流

外部機関との協力体制のあり方の検討・企画を行う。

2. 学会情報普及事業

- ①学会員を含む、広く一般の方々を対象に、HPを通じた、最新情報の発信に努める。
- ②メールニュースによる、情報発信を強化する。
- ③インターネットを通じた学会運営の強化を図る。



④英文 HP の運用を行う。

### 3. 会計関係

- ①公益目的事業毎の会計体系内で、公益事業費 50%以上の確保、遊休財産額が1年度分の公益目的事業費以内等の認定条件を維持するよう運営・管理する。
- ②会員の増強を図るとともに、未納会費の徴収、経費の節減に取り組む。

### 4. その他

- ①公益法人としての円滑な学会運営を図るため事務局機能の強化を図る。
- ②当学会の男女共同参画活動を実施すると同時に、若手が主体的に学会活動に取り組める機会を増やし、学会の活性化を図る
- ③技術者継続教育の一環として、ジオスクリーンネット、JABEE 等への参加、活動を行う。

以上

公益社団法人 日本地下水学会 2013年度 予算

事業名	公益目的事業会計						公益目的外事業会計			法人会計	合計
	公1	公2	公3	公4	公共	合計	その他1	会員相互	合計		
	雑誌発行・定期講演会開催	講習会開催、シンポジウム、見学会	技術開発・研究	相談事業			表彰				
事業収益(収入)											
会費収入	0	0	0	0	3,281,500	3,281,500	0	0	0	3,281,500	6,563,000
参加費収入	1,785,000	1,190,000	0	0	0	2,975,000	0	0	0	0	2,975,000
広告費収入	310,000	0	0	0	0	310,000	0	0	0	0	310,000
販売費収入	1,888,000	0	0	0	0	1,888,000	0	0	0	0	1,880,000
受取寄付金	0	100,000	0	0	0	100,000	0	0	0	0	100,000
受託費用	0	0	1,900,000	0	0	1,900,000	0	0	0	0	1,900,000
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	3,983,000	1,290,000	1,900,000	0	3,281,500	10,454,000	0	0	0	3,281,500	13,736,000
事業費(支出)											
給料	420,000	252,000	1,168,000	84,000	184,800	2,108,800	0	0	0	571,200	2,680,000
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
臨時雇賃金	200,000	0	0	0	0	200,000	0	30,000	30,000	100,000	330,000
会議費	1,150,000	120,000	20,000	5,000	0	1,295,000	0	75,000	75,000	0	1,370,000
旅費交通費	601,000	468,000	502,000	96,000	69,200	1,736,200	0	835,000	835,000	142,800	2,714,000
通信運搬費	493,000	0	0	0	0	493,000	0	130,000	130,000	350,000	973,000
減価償却費	2,750	1,650	1,100	550	1,210	7,260	0	0	0	3,740	11,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	20,000	0	0	0	0	20,000	20,000	0	20,000	80,000	120,000
修繕費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
印刷製本費	2,880,000	335,000	100,000	0	0	3,315,000	20,000	0	20,000	0	3,335,000
燃料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
光熱水料費	25,000	15,000	10,000	5,000	11,000	66,000	0	0	0	34,000	100,000
賃借料	545,000	430,000	140,000	70,000	154,000	1,339,000	0	0	0	476,000	1,815,000
保険料	8,000	0	0	0	0	8,000	0	0	0	0	8,000
諸謝金	0	300,000	360,000	0	0	660,000	0	0	0	50,000	710,000
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	0	0	221,000	221,000	0	0	0	0	221,000
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	122,500	0	0	0	0	122,500	0	0	0	0	122,500
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	10,000	30,000	0	0	0	40,000	0	30,000	30,000	100,000	170,000
合計	6,477,250	1,951,650	2,301,100	260,550	641,210	11,631,760	40,000	1,100,000	1,140,000	1,907,740	14,679,500
収支	2,494,250	661,650	401,100	260,550	2,640,290	1,177,260	40,000	1,100,000	1,140,000	1,373,760	943,500